

台湾通信

オレノキヅカイハ・・・イッタイ

文 高雄事務所 坂田 / 写真 高雄事務所 大辻

台湾は、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、長いこと狂犬病洗浄国・地域としてあつかわれてきましたが、2012年から当局の要請により台湾大学等に委託し野生動物の疫病モニタリングを行っている。そんななか南投県で2頭、雲林県で1頭の原因不明で死亡したイタチアナグマを調査したところ、2013年7月に狂犬病に感染していたことが判明した。実に1961年以来となる狂犬病の発生である。

先のゴールデンウィークで、日本人の海外渡航先一位を獲得した台湾であります。ますます増加する日本から来られる観光客の皆様には、発症したら100%死に至る病気であることや、予防接種をしていたとしても、かまれた後にワクチン接種が必要であるとか、犬だけじゃなく他の野生動物からも感染するなど一定の情報は知ってほしいものです。

そこで今回は、台湾の犬の話。

台湾には野良なんだか飼い犬なんだかわからない犬がたくさんいる。道を歩いても落とし物に気を付けていない

とえらいことになる。バナナの皮よろしく「すってん」なんてことが起きると、いやはやしばらく「オーバー・

ザ・レインボー」虹の彼方へ行きたくなる。

しかし、リードをして散歩している犬はどれもこぎれいで、飼い主さんはビニール袋と水の入ったペットボトルをもって散歩に出かけている。

そんなある日私は、「えっ!？」という事件に遭遇することになるのである。

いつものようにバイクに乗って夜の宴会の会場へ向かっていた時、赤信号に引っかかったので、横断歩道の手前でバイクを止めた。

私の左から、一人の品のいい台湾のおじいさん

が手入れの行き届いたトイプードルを連れて、もちろん手には、白い半透明のビニール袋をもって、私の前を通り過ぎようとしていた。

私の目の前に来た時に、件のトイちゃんはもぞもぞし、横断歩道の中で「大」をする体勢に。

そこには、私のバイクのライトの光……。女の子か男の子かわからないが、落ちていてできないだろうと思い、私はライトをずらして用足しが終わるのを待った。赤信号が青信号に換わるまで、50秒、40秒・・・その間私は不自然な格好でライトをずらし続ける・・・25秒……。どうやら終わったようである。

あとは、品のいいおじいさんが「横断歩道に鎮座ましますもの」を取りやすいように、バイクのライトを戻した。

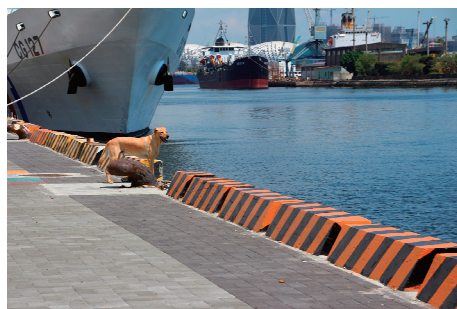
品のいいおじいさんは、屈んで「鎮座様」をとって・・・。「えっ!？」そのまま散歩を続けに行ってしまったのである。

忘れちゃったのかなあ?あのビニール袋はなんだったの?瞬時にいろいろな疑問が頭をよぎった。

後ろのバイクからのクラクションで我に返った私は、スポットライトを浴びていた「鎮座様」を踏まないようにゆっくりとバイクを走らせた。



澎湖島



高雄港



九份